

チームへの連絡事項

山口県中体連バレーボール専門部

大会運営上の確認事項

- 1 両日とも、8:00より、各会場で役員打ち合わせを行います（小郡ふれあいセンターは8:30）。打ち合わせ後、すぐに会場準備を行います。なお、男子は各コート第1試合のチームの選手が、女子は各コート第1試合のチーム及び第3試合のチームの選手が、会場準備を行ってください。詳細は会場責任者の指示に従ってください。
- 2 1日目は、各チームの監督に大会役員をお願いしています。8:00から終了時刻まで、ご協力ください。（監督が役員として運営に関わることができない場合には、代役の選出をお願いします。）
- 3 2日目の大会役員については、男子は1日目のA3・A7・B7・C4の敗者チームから1名ずつ選出をお願いします。女子については、1日目の第4試合の敗者チームから1名ずつ選出をお願いします。

競技運営の確認事項

- 1 競技は、2024年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。（中体連申し合わせ事項を適応する。）
- 2 競技日程および方法は、プログラムの掲載のとおりとし、トーナメント戦による。なお試合は、3セットマッチとする。
- 3 第1試合開始はプログラム掲載時刻とし、試合が連続する場合は、前の試合が2セットで終了したときは10分以内、3セットのときは15分以内の休息をとり、その後、プロトコールに入る。
- 4 男子の1日目の入場時刻は、午前のチームは第1試合開始時間の30分前、午後のチームは第5試合開始時間の30分前とする。また、午前・午後それぞれを追い込み方式とする。
女子の1日目の入場時刻は、第1試合と第3試合のチームは会場準備のため、設定時刻とする。第2試合のチームの入場は8:30とし、コート練習は、準備完了後に行ってもよいとする。ただし、第1試合のプロトコール10分前からは第1試合のチームのみの練習とする。
男女の2日目の入場時刻は、設定時刻とする。第1試合のプロトコール10分前からは第1試合のチームのみの練習とし、それまでは各コートで全チームが練習をしてもよい時間とする。試合の設定時刻は第1試合と第2試合までとし、それ以降は追い込み方式とする。また、男女の決勝戦の開始時刻はそろえて行う。
- 5 公式練習は、各3分間とする。（合同の場合は6分間とする。）
- 6 ベンチ及びフロアには登録された監督、コーチ、マネージャー（生徒に限る）、及び選手以外は入ることができない。
- 7 監督、コーチ、マネージャーマークは左胸部に付ける。キャプテンマークは、胸番号の下に規定のものを付ける。
- 8 くるぶしが保護できないソックスについては使用禁止とする。
- 9 スタッフの服装は、統一された服装でベンチに入ることが望ましい。（監督がジャケットを着用した場合には、その限りではない。）マナーには十分留意する。（半パン・クォーターパンツ類で、ベンチに入らないこと。タオルを振り回したり、首にかけたりしての応援等厳に慎むこと。）
- 10 試合コート及びフロアのボール使用は、公式練習とセット間（フリーゾーン）以外認めない。また、

ロビー等でのボールの使用は禁止する。(会場使用心得に従うこと。)

- 11 エントリーの変更・訂正は、第1日目の試合開始前(該当する試合)までに、本部へ提出する。これ以外の変更は、如何なる場合も一切認めない。
- 12 メンバー表は、試合前の監督サイン時に監督がスコアラーに提出すること。
- 13 ベンチにはソフトバック等の柔らかい入れ物以外は持ち込まないようにすること。
- 14 ベンチ内でのうちわの使用はセット間・タイムアウト・給水タイムのみとする。
- 15 ドリンクについては専用のスクイズボトルを使用すること。
- 16 1日目のラインジャッジ・点示・スコアラーは、原則として以下のとおりとする。
 - ・男子：第1試合は、第2試合のチームで行い、第4試合は、第5試合のチームで行う。
 - ・女子：第1試合は、各コート第3試合のチームで行う。
 - ・1日目の敗者チームは次の試合のラインジャッジ・点示・スコアラーを出すこと。※男子の3試合目の敗者については、次の試合の割り当てはない。
- 17 2日目のラインジャッジ・点示・スコアラーは、出場するチームで行う。第1試合については、第2試合のチームが相互審判で行い、それ以降は敗者チームで行う。

審判上の確認事項

- 1 本大会は、2024年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。(中体連申し合わせ事項を適応する)
- 2 プロトコールについては、ルールブックを参照のこと。
- 3 セット間は、フリーゾーンでのボールの使用は認めるが、隣のコートの邪魔にならないように注意し、パス程度とする。
- 4 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。(ルールブック参照のこと)
(相手に向かってのガッツポーズ・自チームを対象としたものを含めたすべての暴言など)
- 5 タイムアウトは、ハンドシグナルを明確に示して要求すること。
- 6 試合中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。モップ使用はタイムアウト中・セット間及び審判が危険と判断した場合のみ行う。
- 7 試合中、ボールの交換を要求する場合は、選手が審判に申し出ること。
- 8 リベロプレーヤーと選手の交代は、サイドラインで交代すること。

その他

- 1 試合当日男子・女子の各会場の受付時に大会一部負担金とプログラム代金(1冊500円)を支払ってください。プログラムと領収書はその時に渡します。
- 2 審判の面では引率の先生方にはご無理をお願いいたしますが、大会運営に御協力ください。なお、審判をされる引率の先生方の上着は、できるだけ白のポロシャツ、下は紺のスラックス・ジャージをお願いします。
- 3 公認審判員の方は、日本協会認定のレフリースタイルをお願いします。
- 4 競技中の疾病、傷害については、主催者で応急処置のみ行います。
- 5 男女とも第2位までに入賞したチームは、中国大会の申込書を忘れずに受け取ってください。また、中国大会参加料(マネージャーを含む生徒数×2000円)を専門委員長に納入してください。全国大会の申込書も同時に渡しますので、こちらは中国大会での監督者会議に持参してください。なお、全国大会の申し込みの時には、選手・監督の集合写真(白黒)が必要です。必ず同封してください。